

震災復興支援・顕微鏡贈呈 報告書

2012年8月2日

日本顕微鏡工業会事務局長 長野主税

【1】経過

6月5日、岩手県内の産官学連携組織「いわて未来づくり機構」より工業会事務局へ「県内水族館より顕微鏡支援要請に伴うご相談」として実体顕微鏡2台、光学顕微鏡2台の寄贈に関するFAXが届いた。6月8日開催の工業会定時総会におけるアナウンス、12日付会員宛てメールによる寄贈申出の募集を行ったところ、会員6社より合計11台の応募を頂いた。機構担当者、水族館代表との調整により7月20日に5社9台の納入（1社2台は8月末納入予定）、23日に贈呈式を行うこととし、当日は工業会より長野が出張参加した。

贈呈式は滞りなく執り行われ、関係者より感謝表明があった。また岩手県内のマスコミによる報道もあり、地域限定ではあるが工業会のPRもできた。

【2】贈呈先

もぐらんぴあ・まちなか水族館（宇部 修 代表）

[施設概要] <http://www.citykuji-kougyou.com/moguranpia>

1994年、岩手県久慈市に国家石油備蓄基地の地下作業杭を利用し開館。2011年3月11日の震災・津波により全壊・閉館したが、同年8月5日に久慈市内の空き店舗を利用し再開した。2014年に元の所在地に防災機能を備えた水族館として再建する予定。



【3】贈呈顕微鏡（贈呈会社名 50音順）

オリンパス株式会社 生物顕微鏡 CX22LED（明視野仕様・木箱付）2セット
カートン光学株式会社 実体顕微鏡 M9199 CBSBL-40（透過照明付）2セット
スカラ株式会社 携帯端末用顕微鏡 Pocket Micro（iPod Touch 付）1セット
株式会社ニコン 生物顕微鏡 エクリプス 50iB-15-3（Plan 対物 w/o 100x）2セット*
マイクロネット株式会社 実体顕微鏡 YS02Z2 ズン太2（LED 照明付）2セット
メイジテクノ株式会社 実体顕微鏡 EMZ-5（落射・透過 LED 照明付）2セット

*印は8月末納入予定、他は7月20日納入済み。

顕微鏡納入時には右図（例）のラベルを本体・ユニットに貼付。

贈呈顕微鏡の総額（カタログ価格）は約220万円相当。

寄贈（震災復興支援）
日本顕微鏡工業会
〇〇〇〇株式会社
平成24年7月

【4】贈呈式

2012年7月23日(月) 11:00より久慈市まちなか水族館内にて執り行う。

- [出席者]
- ・もぐらんぴあ・まちなか水族館代表 宇部修氏
 - ・岩手県立大学・地域連携室 大向昌彦氏（今回のコーディネータ）
 - ・日本顕微鏡工業会 事務局長 長野主税
 - ・岩手朝日テレビ 久慈駐在員 坊良義弘氏
 - ・岩手日報社 久慈支局長 佐藤俊男氏
 - ・デーリー東北新聞社 久慈支局長 水野大輔氏
 - ・久慈市総合政策課まちづくり振興課主任 広崎寿氏
 - ・もぐらんぴあ・まちなか水族館 スタッフの皆さん（7名）

[贈呈の言葉・目録] 資料1・資料2参照

[贈呈品展示] 右図（各1セット+カタログ）



【5】報道状況

- ・岩手朝日テレビ：スーパーJチャンネルのニュースで23日18:36より放映（資料3*）
*入手したDVDは、VR_MOVIE.VROファイル（地デジ録画）で、これを再生・編集した。
- ・岩手日報社：24日付朝刊の沿岸版に記事掲載（資料4）
- ・デーリー東北新聞社：26日付ホームページに記事公開（資料5、新聞記事は未入手）
- ・久慈市役所：9月1日発行の「広報くじ」に掲載予定

【6】あとがき

贈呈式は震災から500日目となる日に行われた。小さな水族館であるが、再生復興に取り組む関係者の熱意に心打たれた。寄贈顕微鏡は、要請に対し性能・台数とも充分すぎるものであるが、復興支援として県内各施設を含め大いに役立てて頂くことになろうと感じた。報道も地域限定で派手さはなかったが、工業会の存在をポジティブにPRできたことは意義あることであった。支援要請に対し直ちにお応えして頂いた寄贈会社の方々の篤志に深く感謝いたします。

以上

【資料1】贈呈の言葉

贈呈の言葉

このたびの大地震と津波による大変な被災からちょうど五百日が経ちました。この間の皆様の手紙に尽くしたい苦難を思うと本当に心が痛みます。それと同時に復興への尽力に対しまして深く敬意を表します。こうした中、私共も義捐会による支援だけでなく、何か我々らしい貢献ができないかと思っております。

先月5日に大向様から顕微鏡支援要請の「文」を受け取りまして、たまたま3日後に開催された工業会定時総会に諮りましたところ、ぜひ協力したいと会員社長さん数名が手を挙げてくれました。

後で目録をお渡ししますが、結果的に6社より生物顕微鏡、実体顕微鏡など11セットの寄贈申し出を頂きました。このうち本日の贈呈式には5社9セットをお届けすることができました。

ぜひこれらの顕微鏡をこのまちなか水族館であるいは県内の必要とされておられる施設でお役立て頂ければと思います。同時に子供たちがミクロの世界に興味を持つきっかけになるとすれば更に嬉しいことだと思います。

【目録・別紙】

以上、日本顕微鏡工業会及び寄贈会社6社を代表しまして贈呈の挨拶とさせていただきます。

平成24年7月23日
日本顕微鏡工業会 事務局長 長野 主税

【資料2】贈呈品目録

目録

一、双眼実体顕微鏡
カートン光学(株) 式台
メイジテクノ(株) 式台
マイクロナット(株) 式台

二、生物顕微鏡
オリンパス(株) 式台
(株)ニコン 式台

三、携帯端末用顕微鏡
スカラ(株) 式台

右の通り、震災復興支援として贈呈いたします

平成二十四年七月二十三日
日本顕微鏡工業会
会長 笹 宏行
代表 宇部 修 殿

もぐらんぴあまちなか水族館

アナウンサー原稿文

津波で全壊し、去年久慈市駅前で再開した「もぐらんぴあ・まちなか水族館」に、生き物の観察や研究に役立ててもらおうと顕微鏡が贈られました。これは顕微鏡の製造メーカーで組織する日本顕微鏡工業会が、震災で顕微鏡が流出して魚の病気を調べたり微生物の観察ができない状況にあることを知って寄贈したものです。

今日は日本顕微鏡工業会の長野主税事務局長が、生物顕微鏡など合わせて11台の顕微鏡の目録をまちなか水族館の宇部修代表に手渡しました。（宇部修代表）「子供達とか多くの方々に、そのミクロの世界の楽しさとかを是非分かっていただけるような方法でこの機械を使って頂くのが一番いいのだろうと思います。」

もぐらんぴあ・まちなか水族館では、子供たちが海の生物について自ら体験して学ぶ機会を広く設けるなどして、顕微鏡を活用していきたいとしています。



[資料4] 岩手日報 24日朝刊・沿岸版より

水中微生物観察
顕微鏡11台贈る
久慈で東京の団体
日本顕微鏡工業会
(東京都港区、笹宏行
会長)は23日、久慈市
中央2丁目のもぐらん
びあ・まちなか水族館
に双眼実体顕微鏡や光
学顕微鏡など顕微鏡11
台を寄贈した。
同工業会の長野主税
宇部修社長に目録を手
渡す長野主税事務局長
(左)

事務局長が同水族館を
訪れ「会員の方々に声
掛けし、ほぼ新品が集
まった」と紹介。同水
族館を運営するあぐあ
ぶらんつの宇部修社長
に目録を手渡した。
まちなか水族館では
水中の微生物を観察し
たり、魚類の病気を調
べたりするのに活用す
る考え。寄贈は産学官
連携組織のいわて未来

づくり機構が橋渡し役
となった。
宇部社長は「まちな
か水族館や今後再建さ
れるもぐらんびあの復
興に大いに役立つ。子
どもたちがミクロの世
界に興味を持つよう有
意義に使わせていただ
きたい」と感謝した。

岩手日報 沿岸版
2012年7月24日

[資料5] デーリー東北新聞社 ホームページ・ニュース (26日 23:08) より



生命保険を検討中の方、必読

加入前にチェックしたい内容が満載のミニブック、資料請求された方に無料プレゼント中！

HOME 時評 天鐘 おくやみ 釣り情報 週間ガイド 動画

会社案内 広告のご案内 WEB特集 投稿・募集 新聞購読・試読 全国の

久慈の「もぐらんびあ」支援で顕微鏡寄贈(2012/07/26 23:08)



東日本大震災で被災した後、久慈市の久慈駅前に移転している「もぐらんびあ・まちなか水族館」(宇部修館長)を支援しようと、国内の顕微鏡メーカー26社でつくる日本顕微鏡工業会(東京都、会長・笹宏行オリンパス社長)は23日、同館に顕微鏡11セットを寄贈した。館内で飼育する魚介類の管理や微生物の展示イベントなどに活用される。

贈ったのは双眼実体顕微鏡や光学顕微鏡、携帯用顕微鏡など。備品のほとんどを津波で失った同館が、いわて未来づくり機構(事務局・岩手県立大)を通じて協力を求めたところ、同工業会の会員6社が賛同した。

【写真説明】
長野主税事務局長(左)から目録を受け取る宇部修館長

※詳しくは本紙紙面をご覧ください。有料携帯サイトにも掲載しています。

この記事についてtwitterでつぶやく